

和歌山だよいい

令和3年 10月号
(2021)



金剛峯寺（高野町）

秋の訪れが早い高野山では、10月になるとモミジやイチョウが高野山全体を華やかに彩ります。夕方からはライトアップも行なわれ、優美で厳かな寺院と鮮やかな紅葉が織りなす幻想的な世界は、訪れた方々を魅了します。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P10
3. お知らせ…………… P11～P19
4. ふるさと歳時記…………… P20～P21



東日本大震災及び紀伊半島大水害から 10 年

今年はその 3.11 の東日本大震災の悲劇から 10 年の年でありました。また当県にとっては、同様に大変な被害を受けた 9.04 の紀伊半島大水害から 10 年の年でもあります。

御遺族や大きな被害にあわれた方々のこの 10 年間の悲しみや苦しきは、余人が想像することもできないほど大きなものであったと思います。それぞれの被災日を中心に、御遺族や地元の方々を中心に慰霊の催しがなされました。和歌山でも、地元の方々の催しとともに、9 月 5 日に、県全体でも被災 10 年を振り返る合同慰霊式を行おうとしていたのですが、コロナの感染状況を考慮して取り止め、私が各地の慰霊碑を回って、手を合わせてまいりました。我々は、ともすれば過去の悲劇の記憶を段々と失っていきがちであります。災害は忘れた頃にやってくると言われてますが、過去の悲劇を忘れ、備えを疎かにし、災害が襲いかかってきた時、また同じような犠牲を出しては、あまりにも情けないと言わざるを得ません。

したがって、我々は、記憶を風化させないように、いつもあの震災や大水害を折にふれ思い出し、犠牲者や被害に思いをいたさなければなりません。しかし、特に我々行政にとっては、過去を忘れないことだけが大切なわけではありません。過去の思い出をバネに、備えを常に強くすることに努力し続けなければなりません。

この 2 つの悲劇をきっかけとして、今装備されている防災対策は格段と強化されています。あの悲劇の東北を見て学んだもの、大水害の最中にとっさに対応したことを、次は「常備軍」として整備しているもの、そして ICT の力を借りて格段に強力になったものなどたくさんあります。数えてみたら、何と 23 項目にもなっています。(県防災企画課の WEB サイトでは是非ご確認ください。)

しかし、それも、我々行政から地元の住民一人一人まで、それを使いこなせなければ何にもなりません。我々も常に使いこなせるよう努力します。県民の皆さんにも理解、習熟していただけるよう PR に努めます。訓練も必要です。そうして、皆で力をつけて次なる災害の時は、力を合わせてがんばりましょう。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



9/17 議場にて

●令和3年和歌山県知事表彰受賞者を決定しました

県では、公共の福祉増進に功労があった方やその他広く県民の模範となるべき方の功績の顕彰を目的として、昭和28年に「和歌山県知事表彰」を制定しており、これまで、延べ5,188名、300団体の方々を表彰してきました。このたび、48名、6団体の皆さんを令和3年の受賞者として決定しましたので御紹介させていただきます。

なお、当初は、受賞決定日（発令日）である9月29日に表彰式を行う予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、12月20日に延期することとなりました。表彰式では、受賞者の皆さんへ知事から表彰状と記念品（個人の方へは銀杯、団体の方には楯）をお贈りする予定となっています。

受賞者の皆さんのこれまでの本県への多大なる御尽力に深く感謝いたしますとともに、県では、受賞者の皆さんの御協力も得ながら、今後も県の発展に向けて様々な取組を進めてまいります。

【和歌山県知事表彰受賞者の皆さん（順不同・敬称略）】

（地方自治の振興）市町村長や議員などとして長年にわたり地方自治の発展に尽くされた方々 3名

○小松 英夫 ○辻本 順二 ○中坂 政廣

（保健福祉の増進）民生委員・児童委員や医師などとして長年にわたり地域の福祉や医療、保健の発展と向上に尽くされた方々 9名2団体

○家田 勝幸 ○石田 節子 ○高木 健次 ○高橋 邦夫 ○塚本 治雄
○土井 邦夫 ○中井 國雄 ○林 康雄 ○福田 行男
○特定非営利活動法人和歌山子どもの虐待防止協会 ○和歌山県障害者支援赤十字奉仕団

（環境衛生の向上）生活・食品などの衛生水準の向上等を通じ、環境衛生の充実に尽くされた方々 2名

○佐藤 正 ○松尾 廣

（暮らしの安全及び向上）地域の防災、防犯、交通安全指導などを通じ、県民生活の安全を確保し、その向上に尽くされた方々 8名

○後藤 彌恵子 ○遠山 誠之介 ○小川 豊介 ○大浦 淳子 ○東田 恵美
○加藤 彰宏 ○北山 健 ○沖平 統

（教育、文化等の振興）私学振興、文化を通じた地域の振興、国際交流、青少年の育成、人権啓発の推進などに尽くされた方々 9名1団体

○面嶋 久美子 ○谷澤 佐規子 ○山上 範子 ○塩澤 恵 ○田原 サヨ子
○堰本 信子 ○奥田 耕己 ○面平 都紀子 ○金丸 誠司
○かつらぎリーダークラブ

(産業の振興) 商工業、農林業、建設業など各分野での活動を通じ、業界の振興及び育成発展に尽くされた方々 14名

- 井上 徳造 ○川崎 博也 ○嶋本 正 ○嶋本 雅光 ○田中 俊一
- 石倉 忠明 ○金崎 昭仁 ○栗原 佳宏 ○岡本 眞明 ○木村 恵一
- 塩路 信兼 ○杉本 宗一 ○信定 佳宏 ○木村 和生

(ボランティア) 精力的なボランティア活動により住民福祉の発展に尽くされた方々 1名2団体

- 久保 榮子
- 紀三井寺公園・緑道愛護会 ○特定非営利活動法人和歌山盲ろう者友の会

(地域おこし) 様々な分野での新たな取組により地域の活性化に尽くされた方々 2名1団体

- 平 朝彦 ○嵩 聰久
- 高野七口再生保存会

● 「KiiPass Koyasan (キープス高野山)」の実証事業を行っています



「KiiPass Koyasan (キープス高野山)」の利用イメージ図

県では、伊都地域の市町村、南海電気鉄道株式会社及び南海りんかんバス株式会社と協同して、スマートフォン1つで観光周遊を楽しめる「KiiPass Koyasan (キープス高野山)」の実証事業を行っています。本取組は、キャッシュレス化やウィズコロナ時代に対応した観光周遊モデルの構築を目的として行うもので、交通・観光施設のチケット等に係る予約・決済・発行・利用をスマートフォンのみで可能とするものです。

実施期間は、10月1日から11月28日まで。実施地域は、高野山・山麓地域で、南海電鉄15駅と高野山駅間の往復乗車券や高野山内バスのフリー乗車券、さらには、金剛峯寺をはじめとする観光施設やレンタサイクル・人力車といったアクティビティのデジタルチケットを購入することができます。

今月の和歌山県政トピックス

あらかじめ、デジタルチケットを購入することで、スムーズに観光を楽しむことができることはもちろん、チケット販売窓口等での接触の機会が最小限となるため、新型コロナウイルス感染症対策にもなります。是非御活用ください。

県では、今回の実証事業の結果を十分に検討した上で、今後もウィズコロナ時代に対応した観光周遊モデルの構築と紀伊半島全体における観光周遊のデジタル化推進に取り組んでまいります。

「KiiPass Koyasan 特設サイト」: <https://kii-pass.com/koyasan>

※チケットにより、購入期間が異なりますので、御注意ください。



<QRコードはこちら>

●「高野山・熊野を愛する100人の会」による高野山・熊野の魅力講座を配信しています

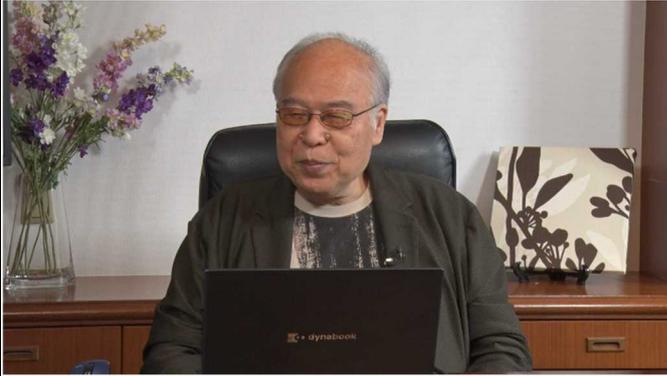
「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値の継承とさらなる魅力を国内外に発信するため、令和元年7月に設立された「高野山・熊野を愛する100人の会」には、各界の著名人に御参加いただいております。これまで、「高野山・熊野」に関する写真展の開催や観光PRグッズの作成など、多くの方にその魅力を伝える取組を行っています。

このたび、特に「熊野」の魅力を多くの方に知っていただくため、「高野山・熊野を愛する100人の会」のメンバーである作家の荒俣宏さんと写真家の山本まりこさん、旅行作家の石田ゆうすけさんに御出演いただき、それぞれの視点からその魅力を語っていただきました。配信期限は、令和4年3月31日までとなっていますので、御覧いただき、「高野山・熊野」に関する知見を深めていただきたいと思います。そして、視聴後は、実際に「高野山・熊野」へお越しいただき、是非その素晴らしさを存分に味わってください。



視聴 URL : <https://koyasan-kumano100.jp/koza/>

<QRコードはこちら>



出演者①：作家 荒俣 宏さん

テーマ：熊野の森の愛し方(突撃編)

めざすは6000年の「時の壁！」

概要：「熊野」の“愛し方”を様々な角度から語っていただきました。和歌山を代表する偉人も登場するなど、熊野の理解が深まります。



出演者②：写真家 山本 まりこさん

テーマ：「熊野と私」

概要：写真家という視点で熊野のおすすめスポットやグルメを御紹介いただきました。カメラのハウツーや熊野を訪れる人へのメッセージも収録



出演者③：旅行作家 石田ゆうすけさん

テーマ：石田的 熊野のみどころ
行かずに死ねるか！クマイチサイ
クルのすすめ

概要：今話題の「クマイチ」や世界を自転車で旅した体験から見た熊野など、これまで聞いたことがない視点から熊野のみどころを御紹介いただきました。

「高野山・熊野を愛する 100 人の会」サイトでは、参加メンバーの皆さんを御紹介するとともに、「高野山」、「熊野」エリアで活躍している方々も” 匠インタビュー” で御紹介しています。是非御覧ください。

「高野山・熊野を愛する 100 人の会」サイト
URL：<https://koyasan-kumano100.jp/>



<QR コードはこちら>

●南紀熊野ジオパークガイドツアー2021を開催します

南紀熊野ジオパーク推進協議会では、「紀の国わかやま文化祭2021」の特別連携事業として、南紀熊野ジオパークガイドによる13種類のツアーを開催します。ジオパークガイドと一緒にジオパークを巡ることで、普段は近づけない秘境の探索や一度は訪れたことがある場所又はよく知っている身近な場所の新たな魅力を発見することができます。

各ツアー実施日の1週間前まで先着順で参加を受け付けておりますので、是非御参加ください。ツアーでは、南紀熊野ジオパークエリアの絶景を楽しんでいただくとともに、大地の成り立ちや熊野信仰をはじめとする和歌山県の素晴らしい歴史・文化について学んでいただきたいと思います。

すさみ町
定員 10人

大地の息吹に感動

すさみ町のジオサイト3か所巡り

開催日 11月3日(水) **料金** 大人1人3,000円
中学生以上から参加可能

コース ※各見学場間の移動は各自の自家用車で行っていただきます。

◎集合 9:45
(イノブータンランドすさみ)
→フェニックス褶曲
→恋人岬・黒島
→江須崎

◎解散 15:30
(日本童謡の里)

歩く時間：約3時間



白浜町
定員各回 5人

白浜サイクリングツアー

浜めぐりコース

開催日 11月3日(水) 11月13日(土) **料金** 大人1人1,000円
小学生1人500円

コース 高低差のない平坦なコースです。
◎集合 10:00 13:30
(まちなか総合案内所しらすな)
→阪田祭祀跡→化石遺痕
→番所山不整合→円月島
→白浜泥岩岩脈→白良浜

◎解散 12:30 16:00
(まちなか総合案内所しらすな)

自転車：約2.5時間

※自転車が必要ですが、集合場所でレンタルもできます。(1台500円～、事前予約必要)



串本町
定員 20人

化石から知る大地の成り立ち

サツマイモ「なんたん蜜屋」と潮岬の火成岩

開催日 11月3日(水) **料金** 大人1人2,500円
カフェなんたん屋のおやつ付

コース ※途中カフェ「なんたん屋」にておやつを食べます

◎集合 13:00
(ジオパークセンター)
→潮岬町中散策
→化石資料館→サツマイモ畑
→なんたん屋→潮岬灯台周辺

◎解散 16:00
(ジオパークセンター)

歩く時間：約2.5時間



白浜町
定員 30人

岩石海岸の魅力満載

・日置・志原海岸・鳥毛の洞窟・

開催日 11月3日(水) **料金** 大人1人2,000円
小中学生1人1000円

コース 集合後の移動は全て徒歩です。

◎集合 9:00
(志原海岸道の駅)
→カナタ湾
→鳥毛の洞窟
→志原千畳敷

◎解散 12:00
(志原海岸道の駅)

歩く時間：約2.5時間



太地町
定員各回 14人

つれもていこら

鯨の町の山中古道と町中歩き

開催日 11月6日(土) 11月14日(日) **料金** 大人1人1,000円
小学生1人800円
別途100円のバス代が必要です

コース ※帰路は太地町のバスを利用します。

◎集合 9:00
(道の駅たいじ)
→山道
(海岸段丘・石切り場)
→和田の石門→飛鳥神社

◎解散 13:00
(道の駅たいじ)

歩く時間：約3時間



お申し込み

「電話」または「HP 申し込みフォーム」からツアー開催日の1週間前までに申し込みをお願いします(先着順です)。ツアー代金は当日の集合時に現金でお支払いください。

電話：0735-67-7100 (ジオパークセンター)

電話でのお申し込みの際は、ご希望のツアーと参加者全員のお名前・生年月日と代表者のご住所・お電話番号をお知らせください。ツアーに関するご連絡及び保険加入のため使用いたします。

各ツアーの詳細情報(集合場所、ツアー行程、持ち物等)については南紀熊野ジオパーク推進協議会のHPに掲載していますのでご覧ください。

主催：南紀熊野ジオパーク推進協議会
協力：南紀熊野ジオパークガイドの会
南紀熊野ジオパークセンター

QRコード：ツアー詳細

新宮市
定員各回 10人

大地のことば聞き歩き

北エリアの秘境和歌山県森林ウォーキング・秋編

開催日 11月6日(土)
11月14日(日) **料金** 大人1人 3,000円

コース ※集合後、各自の自家用車で移動していただく区間があります。

◎集合 9:00
(熊野川小口自然の家)
→古所の谷口
(ここまで自家用車移動)
→長瀬橋→倉谷

◎解散 15:00
(熊野川小口自然の家)

歩く時間：約3時間



串本町
定員 30人

熊野古道大辺路

ウォークとジオサイト巡り

開催日 11月6日(土) **料金** 大人1人 2,500円
中高生1人 1000円 小学生無料

コース ※解散後田並駅14時9分発(和深駅方面行)の電車があります。

◎集合 8:20
(JR 和深駅)
→大辺路新田平見路
→大辺路富山平見
→サラシ首層→江田海岸

◎解散 13:50
(JR 田並駅)

歩く時間：約5時間



串本町
定員各回 10人

宇宙に一番近いジオサイト

宍道海岸を一等キレイに!しつづ、ジオウォーク

開催日 11月7日(日)
11月9日(火) **料金** 大人1人 500円

コース 集合後、各自の自家用車で移動していただく区間があります。

◎集合 13:00
(田原海水浴場駐車場)
→高浜周辺散策
ミニ褶曲・生痕化石観察
漂着ゴミ回収・海岸清掃

◎解散 15:30
(田原海水浴場駐車場)

歩く時間：約2時間



新宮市
定員各回 5人

ちょっとだけ大雲小雲

開催日 11月13日(土)
11月16日(火) **料金** 大人1人 3,000円

コース 集合後の移動は全て徒歩です。

◎集合 8:30
(熊野川小口自然の家)
→小和瀬渡し場跡
→小口峠→大雲取越
→円座石→小口周辺散策

◎解散 12:00
(熊野川小口自然の家)

歩く時間：約3.5時間



那智郡那智町
定員 30人

浦神半島東端部

耳の鼻洞窟の不思議

開催日 11月13日(土) **料金** 大人1人 2,500円
中高生1人 1000円 小学生無料

コース 集合後の移動は全て徒歩です。

◎集合 9:30
(浦神集会所)
山道(海岸段丘を越えます)
→磯道→耳の鼻洞窟
→磯道→山道

◎解散 14:15
(浦神集会所)

歩く時間：約4時間



北山村
定員 20人

「言っちゃダメ!」筏道の秘密

開催日 11月20日(土) **料金** 大人1人 3,500円

コース 集合後の移動は全て徒歩です。

◎集合 9:30
(北山村小松園地駐車場)
→筏道→北山川絶景ポイント
→有蔵集落跡散策
→下滝遺跡散策

◎解散 15:30
(北山村小松園地駐車場)

歩く時間：約5時間



太地町
定員 14人

ロングハイキング

つれもていこう!岬まで!

開催日 11月20日(土) **料金** 大人1人 2,000円
小学生1人 1000円
別途1000円のバス代が必要です

コース ※帰路は太地町のバスを利用します。

◎集合 9:00
(道の駅たいじ)
→山道
(海岸段丘・石切り場)
→燈明崎→梶取崎

◎解散 15:15
(道の駅たいじ)

歩く時間：約5時間



串本町
定員 30人

新発見・戦国時代に築かれた西畑山

山城跡を探索～山頂の絶景

開催日 11月20日(土) **料金** 大人1人 2,500円
中高生1人 1000円 小学生無料

コース 集合後の移動は全て徒歩です。

◎集合 9:30
(串本町江田集会所前)
→西畑山の山城
→江田組大庄屋浦家跡
→江田海岸

◎解散 14:45
(串本町江田集会所前)

歩く時間：約4.5時間



●和歌山県ふるさと納税型クラウドファンディングの寄附金を募集しています

県では、県内で起業を考えている創業希望者向けの講座の開催や地域課題の解決に資する起業に対する補助金等の資金支援、創業後の伴走支援など、創業準備段階から創業後まで手厚く支援を行っています。

令和2年度より地域課題の解決に資する起業に対して、ふるさと納税の制度を活用したクラウドファンディングを実施しており、このたび、2つの事業をクラウドファンディングサイトに掲載しましたので、事業内容に賛同する場合や、実行者のストーリーに共感し、応援したいと思われた場合は、是非寄附をお願いします。

本事業は、地域課題を解決する起業に対して支援する「わかやま地域課題解決型起業支援補助金」の採択者のうち希望者を対象に実施しており、クラウドファンディングサイト上で寄附を募るものです。当初設定した目標額を達成した場合、その寄附を原資として奨励金の支給を行うため、実行者にとっては更なる資金支援を受けることができ、また寄附金についてはふるさと納税として受け入れることとなるため、寄附者にとっても税額控除等のメリットがあります。

なお、令和2年度に認定した7つのプロジェクトは、全て寄附目標金額を達成しており、合計で14,563,000円の御支援をいただいております。

また、今年度は追加で5つのプロジェクトを認定しており、クラウドファンディングサイトに掲載を予定しておりますので、今後とも皆さんの御支援をよろしくをお願いします。

小林 大作さん(株式会社アシテック・オコ)

石井 佳奈さん(オズズキッチン)



<プロジェクトテーマ>

「たとえ重い障害があっても、ICTを使えば社会とつながれる！」作業療法士は伝えたい、届けたい

【寄附募集期限：令和3年11月11日まで】

<プロジェクトテーマ>

まずはご近所で採れた野菜から。“わざわざじゃない”エシカルな暮らしを提案する、小さな食品店をつくる。

【寄附募集期限：令和3年11月12日まで】

<クラウドファンディングサイト URL>

<https://motion-gallery.net/curators/wakayamaprefecture>

●和歌山県文化表彰受賞記念講演を開催しました

県では、昭和39年から文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々に和歌山県文化表彰をお贈りしております。このたび、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、和歌山県の誇りに値すると認められることから令和元年度に和歌山県文化表彰の文化賞を受賞された酒井敏行さん（京都府立医科大学創薬センター長／京都府立医科大学大学院医学研究科創薬医学特任教授）にオンラインで記念講演を行っていただきました。



酒井 敏行さん

酒井さんは、湯浅町出身。耐久高等学校在学中に弟の和彦さんを骨肉腫で亡くしたことをきっかけに抗がん剤を研究開発することを決意し、京都府立医科大学・同大学院へ進学。その後、ハーバード大学に留学し、がん抑制遺伝子に関する研究を続け、その研究成果は、国際的に高い評価を受けています。また、研究成果を基に、日本たばこ産業株式会社（JT）と開発した抗がん剤「トラメチニブ」（商品名：メキニスト）は、現在、80ヶ国以上において、第一選択薬として使用されており、世界のがん克服に大きく貢献しています。

今回の講演は、高校生のふるさとの豊かな自然・文化を誇る態度や科学技術等に対する探究心を育て、国際社会の中で豊かに生きる力を高めるために開催している「高校生のための和歌山未来塾」としての講演でもあり、社会人だけでなく、酒井さんの母校である耐久高等学校の生徒の皆さんをはじめ、約100人の高校生の皆さんにも聴講していただきました。

講演の最後には、酒井さんから、「私と同じように、皆さんも夢を忘れることなく、自分の可能性を信じて地道な努力を続けてください。その先にはきっといいことがあります」とのメッセージもいただきました。

県では、今後も和歌山県文化表彰受賞者の皆さんの功績の顕彰と「未来を拓くひとを育む和歌山」の実現のため、同様の取組を行ってまいります。

講演動画につきましては、下記ページにおいて、**令和3年10月29日（金）**まで公開されていますので、是非御覧ください。

<講演テーマ>

「耐久高校の時の夢とその実現～世界中のがん患者を救う画期的抗がん剤の発見～」

URL：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500100/miraijuku/miraijuku.html>

※動画の転載・複製など、二次利用はお控えください。

●新宮市に文化複合施設「丹鶴ホール」が開館しました

10月3日、新宮市に文化複合施設「丹鶴ホール」が開館しました。

本施設は、本県が誇る熊野地域の歴史・文化の魅力を発信と次世代への継承を図るとともに、本施設を中心として文化創造活動を活発化させることにより、まちの活力とにぎわいを創出し、新宮市が「人輝き文化奏でる都市」として発展していくことを目指して整備されました。



「熊野」の魅力を新たな発信拠点となる

「丹鶴ホール」

本施設には、最大1,142名（立見席を含む。）まで収容可能な文化ホールや約20万冊の図書が収蔵可能な図書館のほか、熊野地域独自の歴史・文化の紹介や研究を行う施設が整備されており、観光客をはじめとする多くの方の交流の場となることはもとより、熊野地域の歴史・文化に関する新たな魅力の発見につながることも期待できます。

開館日に行われた記念式典では、二階俊博衆議院議員が出席し、「新しい文化、新しい新宮市の未来を創造していく起点として本施設を大いに活用していただきたい」と挨拶しました。

なお、10月30日から開幕する「紀の国わかやま文化祭2021」では、「しんぐう文化博覧会」など、本施設を中心として様々な催しが行われることとなっています。県では、本文化祭が、地域文化の更なる発展や新しい文化の創造へとつながる祭典となることを目指しており、「丹鶴ホール」のオープニングイヤーにふさわしいものとなるように準備を進めてまいります。



記念式典の様子

●紀伊風土記の丘、県立博物館、近代美術館の3館で特別展を開催します

和歌山県誕生150年を記念するとともに、多くの方に和歌山県の文化の魅力に触れていただくため、「紀の国わかやま文化祭2021」の特別連携事業として紀伊風土記の丘、県立博物館、近代美術館の3館で特別展を開催します。

いずれもふるさとの先人たちの歩みや和歌山県の優れた芸術文化を知ることができるものとなっていますので、是非御覧いただき、ふるさとの歴史に親しみと愛着をもっていただきたいと思います。

なお、各特別展に関連したシンポジウム等も開催いたします。詳細は、各施設へお問い合わせください。

<紀伊風土記の丘>

紀伊風土記の丘開館50周年記念 令和3年度秋期特別展

「海に挑み、海をひらくーきのくに七千年の文化交流史ー」

紀伊半島沿岸に暮らした先人たちが、海とともに生き、恵みや富を得るために海をひらいて「海の道」を往来した歴史を考古資料や民俗資料を通して紹介し、海の民が活躍した約7000年の文化交流史をひもときます。

本特別展における展示資料は140件800点（うち国指定文化財3件、県指定文化財4件、市町指定文化財6件、国登録文化財1件）。国内唯一の出土（和歌山市大同寺遺跡出土）で、古墳時代の和歌山平野と朝鮮半島との交流を示す「家形甕」が東京国立博物館から4年ぶりに里帰りするほか、縄文時代から近代の漁労・製塩関連の様々な道具や近世において紀州の漁民が日本各地に漁場を開き、カツオ漁・捕鯨などの先進的な技術を伝えたことを示す資料を紹介し

ます。島との交流を示す「家形甕」が東京国立博物館から4年ぶりに里帰りするほか、縄文時代から近代の漁労・製塩関連の様々な道具や近世において紀州の漁民が日本各地に漁場を開き、カツオ漁・捕鯨などの先進的な技術を伝えたことを示す資料を紹介し



縄文時代から近代における先人たちの活躍を考古・民俗資料から紹介します。

【開催概要】

会 期 令和3年10月2日（土）～12月5日（日）

開館時間 9時～16時30分（入館は16時まで）

休 館 日 毎週月曜日（ただし11月22日（月）は開館し、11月24日（水）に休館）

入 館 料 一般360円（290円）・大学生220円（160円）（ ）内は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方及び県内に在学中の外国人留学生の方は無料。ただし、要証明書

シンポジウム及び特別展関連講座あり。問い合わせ先：073-471-6123

< 県立博物館 >

和歌山県立博物館創立50周年記念

特別展 きのくにの名宝 一和歌山県の国宝・重要文化財一

本県には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の高野山や熊野三山など、霊地・霊場が各所にあり、また江戸時代には紀伊徳川家が統治したことから様々な文化活動が行われていました。そのため、現在、本県には国宝36件（建築7件、美術工芸品29件）、重要文化財394件もの文化財があり、国宝の数は全国で第6位、重要文化財の数は第7位となっています。

今回の特別展では、県外の国立博物館に寄託されている国宝・重要文化財も里帰りし、和歌山県が誇る名宝を「きのくにの仏像と神像」、「きのくに荘園の世界」、「国宝・熊野速玉大社の古神宝類」、「紀州東照宮の名宝」、「芦雪・応挙 紀南寺院の障壁画」という5つの視点から紹介します。熊野速玉大社に伝えられた国宝や創建400年を迎えた紀州東照宮に伝えられた家康・頼宣ゆかりの宝物など、紀州の風土で育まれた豊かな歴史と文化に触れることができる内容となっていますので、是非御覧ください。



熊野速玉大社の国宝
「裃 萌黄小葵浮線綾丸文二重織」

特別展 和歌山と皇室一宮内庁三の丸尚蔵館名品展一

皇室から寄贈された美術品を保存・公開する博物館である「三の丸尚蔵館」から収蔵品をお借りし、皇室に伝わった和歌山ゆかりの作品を紹介する特別展を開催いたします。

展示作品は、38件43点。空海や西行が書いたとされる書や本県の名勝地である和歌浦を主題とした作品など、皇室と本県との繋がりがわかる貴重な作品の数々をこの機会に是非御覧ください。



西行書状
西行が、家集批評を藤原俊成・定家に催促した書状

【開催概要】

	和歌山県立博物館創立50周年記念 特別展 きのくにの名宝 一和歌山県の国宝・重要文化財一
会 期	令和3年10月16日(土)～11月23日(火・祝)※前期・後期で展示替えあり。
入 館 料	一般1,000円(800円)・大学生800円(600円)
	特別展 和歌山と皇室一宮内庁三の丸尚蔵館名品展一
会 期	令和3年12月4日(土)～令和4年1月23日(日)
入 館 料	一般520円(420円)・大学生310円(250円)
	()内は20名以上の団体料金
	※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料
開館時間	9時30分～17時(入館は16時30分まで)
休 館 日	毎週月曜日(ただし、11月22日(月)は開館)
	年末年始(12月29日～1月3日)
	特別展関連講演会等あり。問い合わせ先：073-436-8670

<近代美術館>

和歌山の近現代美術の精華

第1部 観山、龍子から黒川紀章まで

明治期以降の近現代美術史において、大きな功績と独自の足跡を残した美術家を和歌山県は数多く輩出してきました。

また、大正期に和歌山県出身の美術家を招集して南紀美術会を創立した徳川頼倫や徳川頼貞、文化学院を開校した西村伊作など、美術家たちがそれぞれの世界を築くために重要な役割を果たした人物もいました。第1部では、こうした和歌山ゆかりの美術家とその支援者たち、さらには、優れた美術作品を次世代につなぐ場として和歌山県立近代美術館を設計した黒川紀章の多種多様な作品・資料を一堂に集めて展示します。



川端龍子《筏流し》大田区立龍子記念館蔵

第2部 「島村逢紅と日本の近代写真」

和歌山市出身の写真家・島村逢紅（1890年-1944年）を初めて本格的に紹介します。発表作品の主流が芸術写真から新興写真へと移り変わる時代において、逢紅は漆黒と階調を生かした独自の表現により、高く評されました。本特別展では1910年代から1940年代までの逢紅の作品約200点及びその他の作品約50点により、その足跡を振り返ります。



島村逢紅《椿》個人蔵

【開催概要】

会 期 令和3年10月23日（土）～12月19日（日）
 ※11月24日（水）に、一部展示替えを実施
 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
 休館日 月曜日（ただし、11月22日（月）は開館し、11月24日（水）に休館）
 入館料 1,000円（800円） 大学生：600円（480円）（ ）内は20名以上の団体料金
 ※高校生以下、65歳以上の方、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料
 11月13日（土）、14日（日）、22日（月）は、無料
 10月23日（土）、11月27日（土）は、大学生無料
 特別展関連講演会等あり。問い合わせ先：073-436-8690

●「わかやま紀州館 mini」が株式会社 C.P Dining が運営する「和み Dining ほんまもん」にオープンしました

このたび、和歌山県産品のPRと販売促進を行うアンテナショップ施設「わかやま紀州館 mini」が株式会社 C.P Dining が運営する「和み Dining ほんまもん」にオープンしました。梅干しや醤油、じゃばら商品など魅力あふれる商品を用意していますので是非お立ち寄りください。

なお、今回のオープンにより「わかやま紀州館 mini」の設置店舗数は全国で29店舗となります。

【店舗概要】

店舗名：和み Dining ほんまもん（大阪府堺市南区和田257）

取扱商品：醤油・じゃばら商品・梅干し・干物・ウインナー

営業時間：月～金/11:30～15:00 17:00～21:00(L.O. 20:30)

土・日/11:30～21:00(L.O. 20:30)



皆さんの御来店をお待ちしております。

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良県産品（プレミアム和歌山）を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。

和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。

ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

各ポータルサイトのQRコードはこちら

ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ

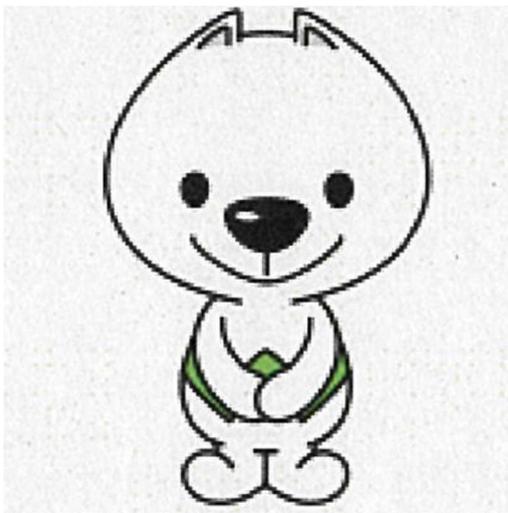


JALふるさと納税



***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****
★お問合せ・申込窓口★
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地
総務部総務管理局税務課
担当 有本、森本、小弓場
電話 073-441-2186(直通)
FAX 073-423-1192
E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館12階
和歌山県東京事務所
担当 前
電話 03-5212-9057
FAX 03-5212-9059



ふるさと和歌山応援寄附への御協力よろしく申し上げます。

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

<p>1 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。</p> 	<p>8 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援</p> <p>和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。 
<p>2 生涯スポーツ・文化の振興</p> <p>全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドマスタースゲームズ2021関西 国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭 全国高等学校総合文化祭 <p>各大会等の開催をすすめます。</p> 	<p>9 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実</p> <p>和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。 
<p>3 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】</p> <p>各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。</p> <p>母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。</p> 	<p>10 わかやまの美しい海づくり</p> <p>黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白良浜海水浴場 片男波海水浴場 <p>などの砂浜の整地をすすめます。</p> 
<p>4 がん対策の充実</p> <p>和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。 若年がん患者の方に対して、生体機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。 	<p>11 わかやまの文化財の保護</p> <p>和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。 和歌山市・木ノ本八幡神社本殿の保存修理をすすめます。 
<p>5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援</p> <p>和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの活動で約3,900匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,600匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。 	<p>12 大切なふるさとの森を守り育てる</p> <p>和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。 
<p>6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用</p> <p>和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参詣道の維持管理・パトロールを行います。 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。 	<p>13 わかやまのナショナル・トラスト</p> <p>和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次世代に引き継いでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。 
<p>7 南紀熊野ジオパークの推進</p> <p>令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。 	<p>※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。</p>

●ふるさと和歌山応援寄附 返礼品に定期便ができました

令和3年9月より、ふるさと和歌山応援寄附の返礼品に定期便を創設しました。和歌山県外にお住まいの方で、令和3年9月～12月の間に御寄附をいただき、返礼品として以下の14種類のいずれかの定期便を選択された場合、令和4年1月～3月の3ヶ月間、毎月、返礼品をお届けします。

番号	寄附金額	コース名	定期便の内容		
I298	¥30,000	わかやまフルーツ加工品食べ比べセット	1月	フルーツコンポート2本セットA	
			2月	フルーツジュレ8本セット	
			3月	わかやまポンチセット	
I299	¥30,000	紀州あせ葉寿司食べ比べセット	1月	紀州あせ葉寿司 海老 7個入	
			2月	紀州あせ葉寿司 鯖 7個入	
			3月	紀州あせ葉寿司 さんま 7個入	
I300	¥30,000	紀州あせ葉寿司・棒寿司食べ比べセット	1月	紀州あせ葉寿司 海老 7個入	
			2月	紀州あせ葉寿司 鯖 7個入	
			3月	さんま棒寿司	
I301	¥30,000	熊野米3か月定期便	1月	熊野米	
			2月	熊野米	
			3月	熊野米	
I302	¥30,000	森のねこトイレ3か月定期便	1月	森のねこトイレ (3袋入り)	
			2月	森のねこトイレ (3袋入り)	
			3月	森のねこトイレ (3袋入り)	
I303	¥30,000	森のねこトイレ(くずれるタイプ)3か月定期便	1月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	
			2月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	
			3月	森のねこトイレくずれるタイプ (3袋入り)	

お知らせ

番号	寄附金額	コース名	定期便の内容		
I304	¥30,000	グルテンフリー 米粉パン3か月 定期便	1月	グルテンフリー 米粉パン	
			2月	グルテンフリー 米粉パン	
			3月	グルテンフリー 米粉パン	
I305	¥50,000	クラフトビール 飲み比べセット	1月	和歌山有田のクラフトビールブルーウッド ブリュワリー詰合わせセット	
			2月	ナギサビール3種飲み比べ12本セット	
			3月	AGARA CRAFT 330ml瓶 12本セット	
I306	¥60,000	紀州和華牛食べ 比べセット1	1月	紀州和華牛赤身しゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛赤身焼肉 500g	
			3月	紀州和華牛赤身すき焼き 500g	
I307	¥60,000	紀州和華牛食べ 比べセット2	1月	紀州和華牛赤身焼肉 500g	
			2月	紀州和華牛赤身すき焼き 500g	
			3月	紀州和華牛焼肉懐石	
I308	¥90,000	熊野牛食べ比べ セット1	1月	熊野牛ミスジ焼肉用 500g	
			2月	熊野牛希少部位焼肉 500g	
			3月	熊野牛ステーキ懐石 3種盛り	
I309	¥90,000	熊野牛食べ比べ セット2	1月	熊野牛ミスジ焼肉用 500g	
			2月	熊野牛ステーキ懐石 3種盛り	
			3月	熊野牛トマホーク 900g	
I310	¥90,000	紀州和華牛食べ 比べセット3	1月	紀州和華牛ロースしゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛ロースすき焼き500g	
			3月	紀州和華牛ロースステーキ	
I311	¥90,000	紀州和華牛食べ 比べセット4	1月	紀州和華牛ロースしゃぶしゃぶ 500g	
			2月	紀州和華牛ロースすき焼き500g	
			3月	紀州和華牛ロース焼肉 500g	

●ふるさと和歌山応援寄附の返礼品について

令和2年度において、ふるさと和歌山応援寄附の返礼品として多く選択されているものを以下のとおり一覧にいたしました。返礼品選択の際の参考としていただければ幸いです。今後ともふるさと和歌山応援寄附に御協力をお願いします。

順位	品名	
1	紀州南高梅 不動の梅 850g (令和3年度商品番号:I032)	
2	熟姫(うれひめ)キウイフルーツ 約3.5kg サイズお任せ (令和3年度商品番号:I004)	
3	紀州南高梅大粒白龍梅 900g※ (令和3年度商品番号:I035) ※令和2年度は800g	
4	和歌山県産 あら川の桃 ※令和3年度は受付終了	
5	紀州五代梅 (令和3年度商品番号:I009)	
5	紀州 梅真鯛梅 五個入り (令和3年度商品番号:I037)	
5	純梅肉エキス 30g×3個セット (令和3年度商品番号:I042)	

※在庫の都合等により受付が終了している場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

商品番号は、1万円以上の寄附をいただいた場合のものです。

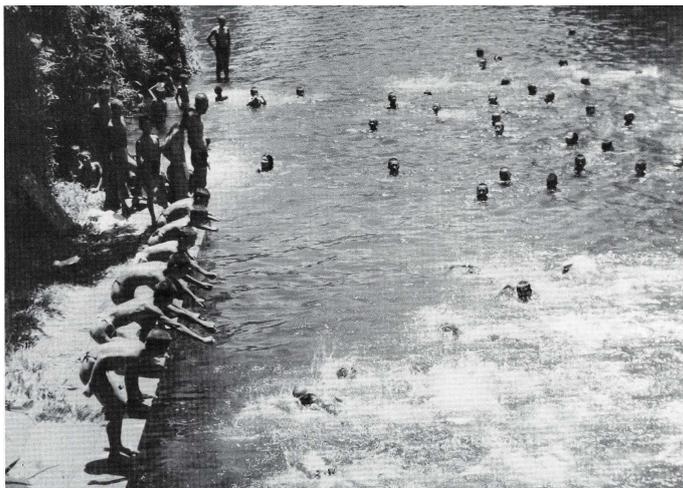
●和歌山県誕生150年記念～和歌山県の街並み・風景～

明治4年（1871年）11月22日に現在の和歌山県が誕生してから、今年で150年の節目の年を迎えます。それを記念し、これまでの和歌山県の歴史を振り返ります。今回のテーマは「和歌山県の街並み・風景」です。



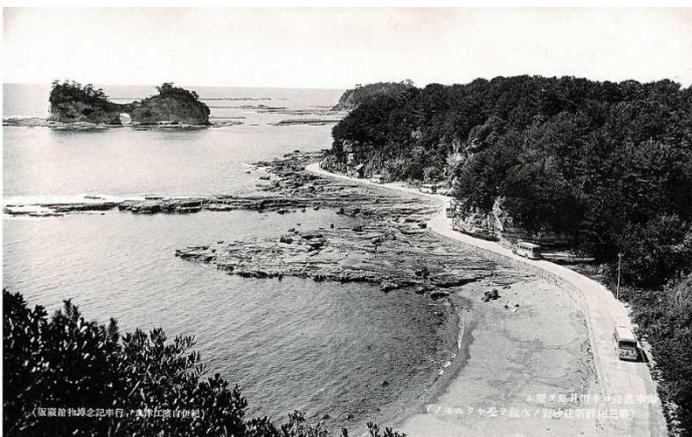
粉河寺門前町の街並み（昭和29年）

粉河寺は、西国三十三所の第三番札所として古くから多くの参詣者が集まり、周辺の地域は門前町として発展しました。紀の川から大門へと至る道は「登大路」といわれ、その道の東西に町場が形成されました。後に紀北地域で第一の商工業の町としても栄え、特に粉河鋳物は全国的に広まりました。（撮影：橘信秀氏）



丹生川の天然プール（昭和初期）

大正8年（1919年）、紀の川水系の丹生川に天然プールが設営され、昭和31年（1956年）11月に九度山町の町営プールができるまで利用されました。九度山小学校卒業生からはオリンピック選手が複数輩出されています。（提供：九度山小学校）



円月島（昭和10年頃）

円月島は、初代和歌山県知事である津田正臣が命名しました。正式には「高嶋」といいますが、島の中央に円月形の海蝕洞がぽっかり空いていることから「円月島」と呼ばれ親しまれています。円月島に沈む夕陽は「日本の夕陽100選」に選ばれています。

イベント情報(10月下旬～11月中旬)

※掲載の情報は、令和3年9月末時点のものです。
最新の情報には、各主催者へお問い合わせください。

期間	行事名	場所	問い合わせ先
10月30日 ～11月21日	紀の国わかやま文化祭 2021	(開会式) 和歌山ビッグホール	第36回国民文化祭、 第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局 073-441-2417
10月30日 ～11月3日	和歌山文化協会総合美術展	和歌山城ホール 展示室	和歌山文化協会 073-436-3580
11月3日	有吉佐和子生誕90年 ふるさとと文学 2021～有吉佐和子の和歌山	和歌山城ホール 大ホール	第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山市実行委員会事務局 073-435-1194
11月3日	紀州おどり「ぶんだら節」	和歌山城周辺	和歌山市紀州おどり実行委員会事務局 073-435-1234
11月3日	おどるんや～第17回 紀州よさこい祭り ～	和歌山城内・和歌山市駅前広場	NPO紀州お祭りプロジェクト 073-426-4424

上記以外にも「紀の国わかやま文化祭2021」では、様々な催しが開催される予定です。詳細は、「紀の国わかやま文化祭2021」の公式ホームページまで。URL：<https://kinokuni-bunkasai2021.jp/>

自然・風物情報(10月下旬～11月中旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
10月下旬	ゆず初しぼり	古座川町平井	古座川ゆず平井の里 0735-77-0123
11月上旬	富有柿の収穫	かつらぎ町	JA 紀北かわかみ 0736-42-5361
11月上旬	有田みかん出荷始まる	有田市	JA ありだ 0737-53-2311

～編集後記～

10月に入り秋晴れの日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

8月号でご案内させていただきました「紀の国わかやま文化祭2021」(10月30日～11月21日)の開会まであと少しとなりました。和歌山にも文化の秋、実りの秋の到来です。

実りの秋といえば、有田みかん「ゆら早生」の出荷が始まりました。8月中旬から長雨が続きましたが、9月以降は好天に恵まれて生育が回復したためおいしいそうです。完熟みかんもおいしいですが、小学生の頃、運動会の際に食べた少し青みの残ったみかんの味と香りが大好きでした。また、今月号の「紀州館インフォメーション」でもご紹介した柿も色づき始めました。

これから和歌山の産地では富有柿の出荷もピークを迎えます。「柿が赤くなると医者が青くなる?!」と言われるくらい柿にはビタミンCをはじめ栄養素がたっぷり含まれています。こうした和歌山を代表する秋の味覚は、わかやま紀州館でも取りそろえておりますし、みなさまがお住まいの地域のスーパー等にも並ぶと思いますので、よろしければ御賞味ください。

和歌山県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県民のみなさまにお願いしておりました「不要不急の外出を控える」を「安全な生活・安全な外出を心がける」と見直しました。(10月1日から)感染予防対策を行いながら、深まりゆく秋を満喫したいですね。

日中はまだまだ暑いですが、朝晩はひんやりとしてきました。みなさま、どうぞお身体にはくれぐれもお気をつけください。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますのでぜひ御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2021年(令和3年)10月 NO.162

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026